

上教総第2766号
平成31年4月26日

三和区地域協議会
会長 松井 孝 様

上越市長 村山 秀 幸
(教育委員会 教育総務課)



三和区小学校のあるべき姿に関する意見について (回答)

平成31年3月25日付けで提出のあった三和区小学校のあるべき姿に関する意見について、下記のとおり回答します。

記

貴地域協議会におかれましては、区内における小学校のあるべき姿について、平成28年度から3年間に渡りご審議いただくとともに、保護者をはじめ、地域住民の皆様のご意向の把握に尽力いただきましたことに感謝申し上げます。

市教育委員会では、学校の適正配置に向けて、平成22年に「上越市立小中学校適正配置基準」を定め、過少規模校や過大規模校の課題の解消に取り組んでまいりました。

また、全市的に少子化が進行し、小中学校に入学する児童生徒の減少が更に進む状況を踏まえ、当該適正配置基準について、当市の現状に見合い、かつ将来を見据えた指針となるよう今年度見直しを進めるとともに、複式学級が存在又は今後発生が見込まれる学校について、教育委員会が主体となり、保護者に対して当該校を取り巻く状況を説明し、教育環境に関する情報共有や意見交換を行っているところであります。

三和区内の小学校におきましては、今年度、美守小学校の複式学級は解消されたものの、各校で各学年1学級となり、今後は、上杉小学校における複式学級の発生や、里公小学校の児童数の急速な減少が見込まれることから、教育委員会としましても、児童にとってより良い教育環境を再構築する必要があると認識しております。

つきましては、教育委員会として保護者のご意向を確認し、三和区内の小学校の望ましい教育環境の姿をより明確にした上で、その実現に向けて取り組んでまいります。